



わおん

多
職
種



No. 14
2025 9発行

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点



第22回 多職種勉強会

8月8日(金)「コロナ禍以降、病院と在宅の連携は衰退したのか？」をテーマに、豊田地域医療センター 理学療法士 木村圭佑氏より話題提供をいただきました。

日々業務で「連携」はしているけれど「そもそも連携ってなに？」というところからお話いただき、連携と協働について学びを深めました。患者・利用者が入院、退院をしていく中で、ケアの連続性を保つために連携/協働していくには、自身のコミュニケーションスキルと向き合い、他の専門職の役割を理解し尊重していくことが重要であり、自分たちには何ができるのか考える時間となりました。

前回に引き続き、グループワークは参加希望制とし61名にご参加いただきました。異なる職種の方々と、あらためて「連携/協働」について一緒に考え、意見交換や質問をすることができました。今後も勉強会を通して少しでも顔の見える関係づくりができるよう、努めてまいります。

お忙しい中ご参加いただいた皆さま、
ありがとうございました。
次回の勉強会は、R8.冬頃
を予定しています。



～参加者の方々の感想～ (アンケートより抜粋)

- ・連携をしていくには、話し合える信頼関係を作り、連絡をこまめに取っていくことが情報共有に繋がっていくことだと思った。不足している情報を事前に確認し伝えていきたい。
- ・連携に対する難しさや大変さ。でも松阪市は意識が高い事を知れてよかったです。私たち施設でも最後はやっぱりお家に帰りたい方が多く、そうした時に多職種とどうつなげていけばいいのかわからず、ヒントをいただけたらと参加させていただきました。
- ・退院時の連携は一部の職種に限られている気がします。連携が進んでない職種が今後どうしていくかが課題だと思います。
- ・異なる専門職が互いにコラボし、協調、意思決定を伴う共通の目的にむかっていくことを意識していけるように支援をおこなってほしいです。

多職種紹介リレー

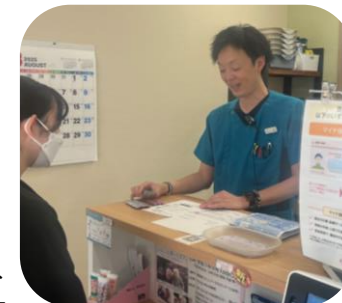
第11走目

多職種紹介リレーは、地域の専門職の方々にリレー形式で自己紹介をいただいています。

皆様はじめまして。たすけあい株式会社 居宅介護支援事業所たすけあいのケアマネージャー松田洋平さんからご紹介いただきました、ひまわり薬局薬剤師の山口貴史です。

ひまわり薬局は、あらおと整形クリニックさんの門前薬局として外来調剤を行ったり、患者様のご自宅に訪問する在宅業務を積極的にさせていただいている薬局です。

私は、以前ドラッグストアに勤務していた経験がありますが、そこでも調剤という仕事よりもOTC医薬品の販売や、店舗の店長やエリアマネージャーを経験したりと、薬剤師としてというよりは一人の人間として接客する仕事に魅力を感じていました。今の調剤薬局を開局してから、人の生活に入り込んだサポートができることを目指して個人のご自宅を中心とした訪問在宅業務をしたいと考えて活動しています。



私個人のお話ですが、「仕事も遊びも全力で！」という言葉掲げて生きてきました。誰よりも働き、誰よりも新しい体験をしてみたいと思っています。以前は釣りやサッカーをよくしていましたが、最近は旅行やサッカー観戦、バーベキューを楽しんでいます。旅行では、47都道府県制覇を目指して残り10都道府県となりましたが、今年から猫を2匹飼うことになったので遠出がしにくくなりました。ただ、それを上回る可愛さに日々の疲れを癒してもらっています。食欲旺盛な男の子の「うに」と初対面の人にもゴロゴロと甘えたい男の子の「ほっけ」です。

これからも自分自身と、私と出会ってくれた人が楽しく幸せになるように過ごしていきたいです。



11走目の山口さんからバトンを受け取っていただいた方を次号で紹介します。お楽しみに！

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点の活動について

連携拠点のお仕事についてご紹介します

2018年4月、地域の在宅医療・介護を支える専門職の方々を支援する目的で開設されました。

4つの柱を中心に活動しています

- 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- 情報共有の支援
- 地域の医療・介護の資源の把握
- 医療・介護関係者の研修



地域の医療・介護の資源の把握

地域の医療や介護に関する資源の把握を行い、マップやリストを作成しています。

すずの輪に掲載しています👉

情報掲載場所

☞情報共有システム「すずの輪」
トップページ>コミュニティ
>★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん
>資源リスト・地図



「高齢者の住まい」
に関する情報一覧

医療機関リスト



事業所マップ

他にも、リストやマップを掲載しています。
こんなリストがあると便利、こんな情報がほしいといった要望がありましたら連携拠点までお寄せください。

連携拠点からのお知らせ

情報共有システム『すずの輪』の新規ID発行申請方法がかわりました

カナミックネットワークの仕様変更に伴い、新規ID発行申請の方法が変更になりました。松阪市役所ホームページ内【情報共有システム“すずの輪”】のページから申請をおねがいします。(申請用紙・Excelデータ使用の申請は廃止されました)

★★★★新規ID申請時、ご注意くださいこと★★★★

①職種の登録をおねがいします

氏名入力画面下の「その他の項目」をクリックしてご登録ください。
未入力の場合は別途確認の連絡をさせていただきます。

②ID・パスワードはメールで届きます

ID・パスワードの郵送はありません。

③所属変更、利用停止、利用者部屋申請の変更はありません
今まで通り申請してください。



医療と介護の連携ハンドブックを更新しました

『医療と介護の連携ハンドブック』(初版・令和2年)の更新を行いました。医療・介護の専門職同士の「より良い連携」を目指す目的で作成された当ハンドブックは、顔の見える連携会議や実務者検討委員会で得られた意見をもとに連携の基本やスキルアップにつながるヒントをまとめました。
連携を円滑に進めるための具体的な手順、専門用語の解説、相談窓口一覧など、必要な情報がたくさん掲載されています。ぜひご覧ください。

情報掲載場所

☞情報共有システム「すずの輪」
トップページ>コミュニティ
>★松阪地域 在宅医療・介護連携拠点さん

☞松阪市ホームページ

【医療や介護の専門職の方へ】に掲載中



あとがき

「医療と介護の連携ハンドブック」の更新を行いました。情報共有システム「すずの輪」、松阪市のホームページに掲載しています。
たくさんの方々の目に留めていただき、活用いただければと思います。ご意見等ありましたら、連携拠点までお待ちしております。

松阪地域 在宅医療・介護連携拠点

〒515-0076 松阪市白粉町363番地

(松阪地区医師会館1階)

TEL:0598-25-3070 FAX:0598-25-3071

メール:ks-shien@city.matsusaka.mie.jp

◇月～金 9:30～16:00◇

(祝日・年末年始を除く)